

厚生労働省行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

1. 日 時

平成 27 年 5 月 13 日（水） 13 : 05～14 : 55

2. 場 所

厚生労働省大臣官房会計課会議室

3. 出 席 者

外部有識者：井出委員、栗原委員、長崎委員、増田委員、横田委員

厚生労働省：大臣官房会計課長、会計企画官

4. 議 事 内 容

（議題 1）平成 27 年度公開プロセス対象事業の選定

厚生労働省から資料 1、資料 2 及び資料 3 に基づき、公開プロセス対象事業候補の選定の対象となっている 12 事業について、事業概要、選定理由及び想定される論点の説明があり、外部有識者からの意見を踏まえ、以下の 7 事業が今年度の公開プロセス対象事業候補として選定され、了承された。

- ・ 肝炎患者等支援対策事業費（H26 事業番号 108）
- ・ 働きやすい職場環境形成事業（H26 事業番号 380）
- ・ 雇用均等コンサルタント関係経費（H26 事業番号 406）
- ・ 長期失業者等総合支援事業（H26 事業番号 479）
- ・ 中国残留邦人等に対する帰国受入援護事業（H26 事業番号 734）
- ・ 公的年金制度等の適正な運営に必要な経費（H26 事業番号 803）
- ・ 高齢者の日常生活支援の推進に必要な経費（H26 事業番号 819）

なお、外部有識者からの主なコメントは次のとおり。

- 制度創設から長期間実施している事業は議論することが望ましい
- 廃止または何らかの見直しについて議論の余地の大きいものを選定すべき
- 金額が大きい事業は検証効果が大きい
- 国民や事業者の関心が高いものを議論し公開する意義は大きい
- 現場を見に行き行ってどんな状況なのか把握することも公開プロセスの価値のひとつ

なのではないか

- 今回選定した事業は、選定外の他事業にも共通する論点があり示唆を与えるのではないか
- 12事業のうち選定されなかった5事業についても外部有識者の意見を省内での検討に生かしていただければと思う

(議題2) 平成27年度書面審査の対象事業の選定

厚生労働省から資料4及び資料5に基づき、外部有識者による書面審査の対象事業について、選定基準、考え方等の説明があり、外部有識者からの意見はなく、原案のとおり書面審査を行うことが了承された。

－以上－